



上尾ロータリークラブ



2021-2022年度R.I.テーマ
奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

第2896回 例会
2021. 10. 28

会長あいさつ



2021-2022年度 齋藤 修弘会長

週報 No.2178
発行 2021年 11月 18日

2021-2022年度
会長 齋藤 修弘
幹事 長沼 大策
副会長 深澤 圭司
副幹事 門崎 由幸
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 横山 泰史

ゲスト
2017-2019学年度
RI第2560地区(世話クラブ新潟RC)
米山記念奨学生(修了生)
ソド・チャンドマニメグ様

行事予定
11月25日 部門セミナー報告
管理運営部門
会員増強維持部門
国際奉仕部門
青少年奉仕部門
ロータリー財団部門
米山記念奨学部門
(時間変更)

皆さん、こんばんは。緊急事態宣言が解除され、今年度初めての夜間例会ができるようになりました。新型コロナウイルスの第6波は必ず来ると言われていますが、ここ連日の新規感染者数の激減ぶりだと、果たして本当に来るのだろうかという気もします。ようやく世の中がかつての日常を取り戻せるようになるのかなあと期待や期待の多いのではないのでしょうか。まだまだ油断できない状況ですが、皆さんはワクチンの接種が済んでいる方も多いと思いますので、今日は懇親会を設けています。

さて10月24日は世界ポリオデーでクラシックカーラリーの応援に行ってきました。『ロータリーの友』は日本全国版だと思のですが、第2770地区のポリオ根絶チャリティ・クラシックカーラリーの告知が大きく載っていました。会員の皆様には直前のご案内となり申し訳ありませんでしたが、当クラブではこのカーラリーへの応援に行き、例会とさせていただきます。財団部門に向向している小田切会員からグループラインに投稿もありましたが、普段街中ではなかなか目にする事のできないクラシックカーが41台。車両エントリー費の一部がポリオ根絶のために寄付されるということでした。大宮米川神社〜川越〜秩父〜パレスホテル大宮へのルートで、ゴール地点に1台目で乗り付けたのは松本ガバナーが助手席に乗っていた車でした。貴重な休日にも関わらず、ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。

話は変わりますが、11月8日(月)の「人生が変わる 1分間の深いイイ話」に大木保司さんが出演されるそうです。上尾出身の羽鳥慎一さんが司会されている番組で、上尾についてお話しされたそうです。

話は遡りますが、今年度の初め、7月1日、8日、15日と3週連続雨や雷雨で私は雨男なんじゃないかとお話しさせていただきましたが、7月3日に起きた熱海市の土砂災害へのロータリーからの義援金について2週間前の例会で2770地区で集まった義援金額について幹事報告であったように、『ロータリーの友』10月号に、日本全国から集まった義援金の詳細について載っていたので、ぜひ皆さんにシェアしたい内容でしたので紹介させていただきます。日本全国から6100万円のお金が集まったそうです。6100万円の使い道ですが熱海市に渡してその



ROTARY CLUB OF AGEO

ままでなく、被災者が生活に必要な個人負担になる生活用品の一部に充てられたそうです。家電についてはノジマ電気が提供するそうで、家電以外のインテリアはニトリで買うと市が補填すると、ロータリー側と決めたそうです。私たちの会費がスピーディに義援金になって、ロータリークラブがメディアに支援団体として採り上げられたのは素晴らしいことだと思いますのでシェアさせていただきます。

さて本日はモンゴル出身の米山記念奨学生・修了生ソドさんがゲストとしてお越しになりました。今月は米山月間、10月初旬の1週間が「ロータリー学友参加推進週間」だったようで、ソドさんが例会に来てくれているのも何かの縁かもしれません。

続いて米山記念奨学生の荘正宇君についてです。近況報告が届きました。「最近、私はかなりうまくやっています。新学期が始まったので、勉強に励んでいます。研究の部分については、今のところかなりスムーズなはずで。さらに、12月末に国際ジャーナルに論文を投稿する予定なので、今は頑張っています。進捗はあまりよくないですが、私は頑張ります。今、コロナで、まだ日本に行けません。しかし、最近、日本ではコロナはだんだん安定してきましたので、すぐに行けるはず。私は日本に行く日を楽しみにしています。」とのこと。荘君が来日したら、ぜひ歓迎したいと思います。

最後に、本日の例会主題は、坂会員に夜会員卓話です。会員卓話の目的は、会員相互でよりお互いを知っていただき親睦と、ビジネスの発展に繋がればという思いで企画しています。後ほどの卓話を楽しみにしています。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告

長沼 大策幹事

- ◇入会月財団寄付金の名称が「上尾ロータリークラブファンド 入会月積立金」に変更されました。
- ◇11月4日、社会奉仕事業で領家グリーンゲイブルズへ赴き野菜保冷庫の寄贈式を行います。
- ◇11月14日(日)は、地区大会になります。大勢の皆さんのご参加をお願いします。
- ◇岡野会員が腰の圧迫骨折で10月10日から入院されました。クラブからのお見舞金を渡しました。



ゲストあいさつ

2017-2019学年度 米山記念奨学生 ソド・チャンドマニメグ様

皆さん、こんばんは。モンゴルから来ましたソド・チャンドマニメグです。ニックネームはチャギーと申します。モンゴルで日本語を覚え、大学では日本文化を4年間専攻しました。一度社会人になりましたが、日本の大学院で学びたいという夢があり、新潟の事業創造大学院大学の経営学部に入學し、大学からの紹介で米山記念奨学制度を知り、応募して新潟RCさんにお世話になりました。カウンセラーさんも優しく、毎月同好会に参加し、日本海海岸のごみ拾いボランティアにも参加させていただき、楽しい2年間でした。大学院生時代、モンゴルの乳製品を日本市場へ輸入販売する事業計画を立て、ニッカン新聞ビジネスプラン発表会で賞しました。現在は上尾のアスクというお米販売の会社に就職し勤めています。本日は、米山記念奨学でお世話になったロータリークラブが上尾にあることを知り、懐かしく、今度は社会人となった私が逆に日本に活動のお手伝いができればという思いでお訪ねしました。上尾を盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



近況報告

関口 良康会員

生まれて50年、今年8月に人助けをする初体験をしました。今まで、やさしい街・上尾で育ったのでトラブルのない人生を送ってきましたが徒歩で職場に向かう途中、朝8時でも暑くて、上尾陸橋の交差点あたりでボタンという音が聞こえ、なんだろうと思って振り返ったら70代くらいの方がひっくりかえっていました。おそらく熱中症に近い状態だったのかなと思います。そこで110番に電話しすぐに警察の方が迎えに来てくれるということで、私は会社に向かいました。上尾は安心な街なので、今まで警察に電話したり人助けをすることもありませんでしたが、そんな初体験でした。



結婚・誕生祝い

結婚記念日 おめでとうございます!



大塚 信郎 会員

物忘れを解消するにはどうしたらいいかと考え、人の顔を思い浮かべながら、名前を思い出しています。時間がかかりますが、ボケを予防しています。

大木 保司 会員

誕生日は秋刀魚を食べました。結婚記念日は結婚30周年記念の年＝パール婚式でした。「深いイイ話」で上尾は安心・安全で住みやすくていい街ですよと話しましたが、短いO.Aになるだろうと思います。

坂 佳三 会員

今年で結婚23年目を迎えて、やっと1人目の子が大学を卒業しましたので、あと2人がんばっていききたいと思っています。

お誕生日 おめでとうございます!



門崎 由幸 会員

54歳になりました。毎年のことですが体重がなかなか落ちません。1年間体調管理をして来年の今頃は20kgは減らしていこうと思っています。

村岡 武仁 会員

84歳になりました。運転が好きで、自分なりのスローガン「気をつける84」をハンドルに下げて運転しています。今後ともよろしくお願いいたします。

小田切宏治 会員

お祝いただきありがとうございます。お礼を申し上げます。

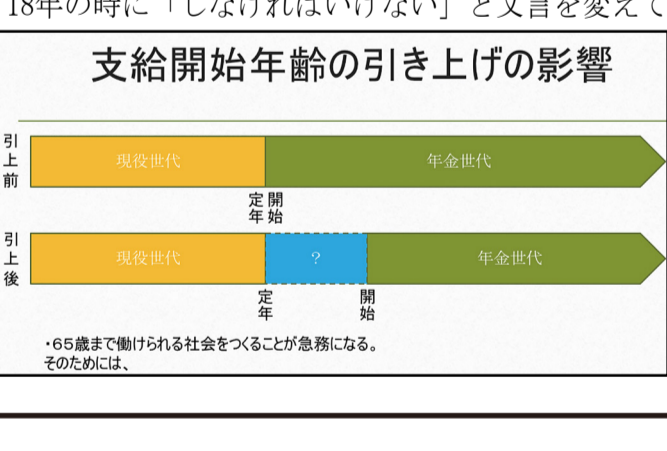
例会主題 ～ 会員卓和

年金と定年

坂 佳三 会員(社会保険労務士)

こんばんは。仕事柄、年金や雇用を扱っています。8月に事務所を引っ越しました。今回、皆さまにお話しして、ためになるかなと思ったのは、今後、日本の年金制度の支給開始年齢がどんどん上がっていくというようなお話です。

年金制度が始まったのは昭和17年(昭和19年)からで、国民のためというよりは、戦争でお金を集めるためと言われていました。もともと男性だけ55歳から支給する年金だったのですが、それを4回法改正して今の形になっているんです。昭和29年に55歳を60歳に引き上げ、昭和60年に60歳から65歳に引き上げました。昭和60年の時、60〜65歳まで特別支給という免疫をつけて60年上げました。最近引き上げたのが平成6年と平成12年の改正です。平成6年と平成12年を図解していくと、2つの法改正で年金を引き上げています。今、年金は二階建てになっていて、平成6年は12年かけて5歳引き上げているという感じで動いています。平成12年、2回目も引き上げたとなっています。それで引き上げる時に影響がでまして、通常であれば現役世代と、年金をもらうスタート(下)の若い部分に隙間ができていくのですが、ここをどうにかして埋めなければいけないということで、国がやっているのは定年をどんどん後にずらす作業をするんです。先ほど平成6年と12年で年金の支給を上げたのですが、今度12年と18年の法改正で定年を上げていく。最初は努力義務をしましょうねという感じで平成12年の時にして、平成18年の時に「しなければいけない」と文言を変えて



いくという感じ。法改正が始まると、それに対して国は助成金を出しているんです。平成12年には継続雇用定着促進助成金を作り、平成18年は定年引上げ等奨励金を作って、お金が貰えるからみんながやるよといった感じで、完全にアメとムチの関係を作り上げています。

まとめると、国が何かをしようとした時に、最初は努力規定を作って、それに対して助成金が創設されます。その後には年金の支給開始年齢を徐々に引き上げて、その後は義務規定に変えてしまっただけで年金支給開始年齢を上げていくという流れがあるので、これをもっと簡単に言うと、簡単な法改正(努力規定)と助成金をセットで作って、最後に義務に変えていくという流れです。

今年、簡単な法改正が1つありまして、65歳までの雇用確保措置という、65歳までを定年にしましよ

うというのに加えて、67歳から70歳までの就業を確保しようという感じになっていて、70歳まで定年を上げたり、70歳まで継続雇用をするという企業に対して今年は倍額くらいのお金がでているんです。この助成金は9月に締め切っている、基本的に国の予算は1年で消化できるくらい金額を作っているのですが、わずかに半分で全部なくなってしまうくらいです。埼玉県の申請件数は200件、去年1年間で60件なので、約4倍〜6倍くらいの申請件数があるので、決めていく人はさっさとやっつけていくんだと思います。国は年金の支給を70歳からとしているので、それに対して定年を早急に引き上げていく方がいいのかなと思って今日お聞きいただければいいと思います。この資料を作ってみました。皆さんのお役に立てれば幸いです。本日はありがとうございました。

- 6 齋藤修弘会長/深澤副会長/長沼幹事/門崎副幹事/大塚信郎会員/村岡会員/大木保司会員/齋藤博重会員/須田会員/樋口会員/小田切会員/坂会員/丹井会員/大木崇賞会員/関口良康会員/山崎会員

会員数	35
出席数	23
欠席数	12
出席率	65.71%

社会奉仕事業 視覚障がい者の未来に光を届けるプロジェクト! 第2897回 2021.11.4 於:領家グリーンゲイブルズ

地区補助金を使い、多機能型事業所に野菜保冷庫を寄贈、この日、寄贈式を行いました。事業所では既に利用していただいております。利用者(視覚障がい者)と所長からお礼の言葉をいただきました。

